

農繁期 レポート

令和6年 6月号

栄ファーム

オーナー 栄運輸工業株式会社
産地 鳥取県日野郡日南町
水田面積 18.4アール
保証量 玄米828kg
形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 三上 惇二さん



6月に入り水田の内外に生えている雑草も元気を出して来ており、毎日草刈り作業に追われています。水田内のヒエ等に対してはドローンを使い除草剤散布をいたしました。草刈りがメイン作業となる時期ではありますが、中干し時期が来たら排水して乾かしていきます。

6月の作業内容

1. 初期除草の大切さ

除草剤の使用の有無に関わらず、お米の栽培において、「初期除草」をいかに成功させるかは大切なことです。雑草の生育をさせないような水管理やタイミングに気を使います。除草をすることで、肥料も効率的に使えます。



農薬に頼らない除草方法も

2. 草刈り

お米づくりにおいて半分の期間は「草刈り」をしていると言っても過言ではありません。それほど重要な作業ですが、近年は草刈り機も進化しており、様々なタイプのものがあります。刈払機だけでは腰への負担も大変です。



のり面の草刈りも楽々です

3. 水の管理

田植えから中干しまでの期間は、しっかり水を田んぼに蓄えておくことがイネの生育の上でも非常に重要です。空梅雨の場合水不足が心配されますが、いかに適切な水管理ができるかが収穫にも影響を与えます。



水路の管理も重要な仕事です

4. 中干し

お米づくりの中で最も重要な管理作業である「中干し」は、品質や収量を左右しますので、タイミングには注意を払います。基本は田植えの約1か月後、あるいは出穂の約1か月前を目安に行います。



田の表面が軽く亀裂が生じる程度に